

平成21年5月の結果 (二人以上の世帯)

二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 285,530 円
 前年同月比 実質 0.3%の増加 前月比(季節調整値) 実質 2.2%の増加

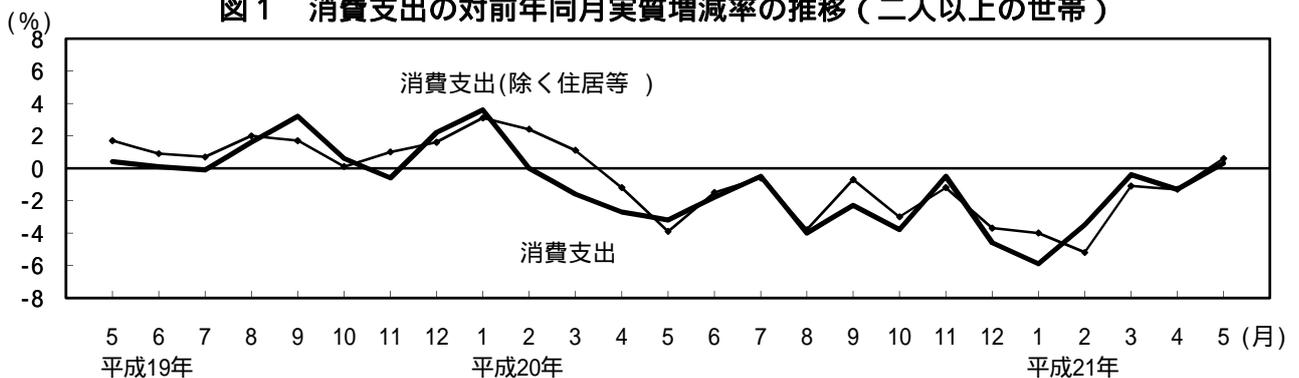
消費支出(除く住居等)は、
 前年同月比 実質 0.6%の増加 前月比(季節調整値) 実質 1.5%の増加

うち勤労者世帯の実収入は、
 前年同月比 実質 1.4%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

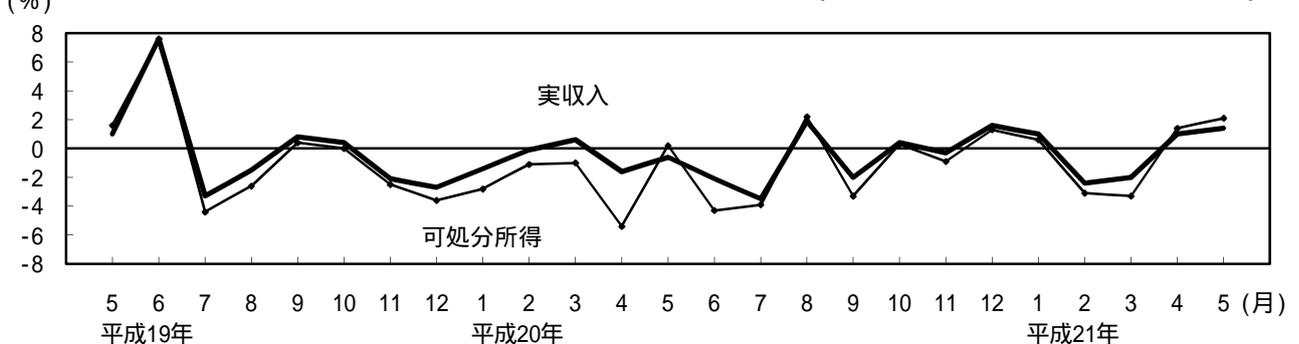
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成20年												平成21年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月				
消費支出	-3.2	-1.8	-0.5	-4.0	-2.3	-3.8	-0.5	-4.6	-5.9	-3.5	-0.4	-1.3	0.3				
消費支出(除く住居等)	-3.9	-1.5	-0.6	-3.8	-0.7	-3.0	-1.2	-3.7	-4.0	-5.2	-1.1	-1.3	0.6				

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成20年												平成21年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月				
実収入	-0.6	-2.1	-3.5	1.9	-2.0	0.4	-0.3	1.6	1.0	-2.4	-2.0	1.0	1.4				
可処分所得	0.2	-4.3	-3.9	2.2	-3.3	0.3	-0.9	1.3	0.6	-3.1	-3.3	1.4	2.1				
消費支出	-0.9	0.3	-0.1	-3.1	-3.4	-6.0	1.2	-4.1	-5.7	-1.0	0.7	0.4	1.8				
平均消費性向	-1.0	2.4	2.6	-4.4	-0.1	-5.2	1.8	-2.5	-5.8	1.6	3.7	-1.0	-0.3				

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成21年5月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	285,530	-0.9	0.3	0.3		16か月ぶりの実質増加
食料	70,936	1.5	0.5	0.13	<増加> 穀類, 飲料など	6か月ぶりの実質増加
住居	17,437	4.4	4.3	0.25	<増加> 家賃地代, 設備修繕・維持	4か月連続の実質増加
光熱・水道	20,756	-2.0	1.0	0.08	<増加> 電気代	2か月連続の実質増加
家具・家事用品	9,514	8.2	10.0	0.30	<増加> 室内装備・装飾品, 家庭用耐久財など	3か月連続の実質増加
被服及び履物	12,623	-1.1	-1.0	-0.04	<減少> 洋服, 被服関連サービスなど	6か月連続の実質減少
保健医療	11,902	1.5	1.7	0.07	<増加> 医薬品, 保健医療用品・器具	2か月ぶりの実質増加
交通・通信	35,047	-6.8	-1.3	-0.17	<減少> 自動車等関係費, 交通	2か月連続の実質減少
教育	11,880	-6.4	-7.2	-0.32	<減少> 授業料など	4か月ぶりの実質減少
教養娯楽	31,069	-2.0	0.5	0.06	<増加> 教養娯楽用耐久財, 教養娯楽用品	2か月ぶりの実質増加
その他の消費支出	64,367	-1.1	(0.1)	(0.01)	<減少> こづかい, 仕送り金	14か月連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

注2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

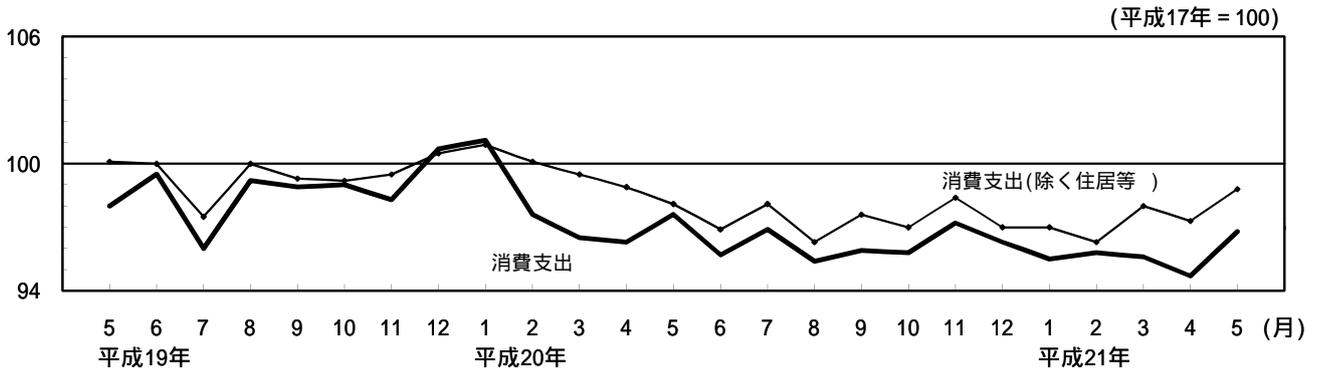
消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度		品目
<増加項目>			
教養娯楽用耐久財	[0.41]	……	テレビ, パーソナルコンピュータ
教養娯楽用品	[0.31]	……	音楽・映像収録済メディア, スポーツ用品
家賃地代	[0.21]	……	公営家賃, 民営家賃
医薬品	[0.19]	……	
交際費	[0.16]	……	住宅関係負担費
保健医療用品・器具	[0.13]	……	保健用消耗品
<減少項目>			
教養娯楽サービス	[-0.48]	……	国内パック旅行費, 外国パック旅行費
授業料等	[-0.41]	……	私立大学, 幼稚園
保健医療サービス	[-0.25]	……	医科診療代, 歯科診療代
自動車等関係費	[-0.15]	……	自動車購入
ガス代	[-0.12]	……	プロパンガス, 都市ガス

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

注2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成20年								平成21年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
消費支出	97.6	95.7	96.9	95.4	95.9	95.8	97.2	96.3	95.5	95.8	95.6	94.7	96.8
対前月変化率(%)	1.3	-1.9	1.3	-1.5	0.5	-0.1	1.5	-0.9	-0.8	0.3	-0.2	-0.9	2.2
消費支出(除く住居等)	98.1	96.9	98.1	96.3	97.6	97.0	98.4	97.0	97.0	96.3	98.0	97.3	98.8
対前月変化率(%)	-0.8	-1.2	1.2	-1.8	1.3	-0.6	1.4	-1.4	0.0	-0.7	1.8	-0.7	1.5

注 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成21年5月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	436,123	0.2	1.4	1.4	2か月連続の実質増加
世帯主収入	354,454	-2.6	-1.4	-1.16	5か月連続の実質減少
定期収入	349,518	-2.5	-1.3	-1.10	5か月連続の実質減少
配偶者の収入	51,441	6.8	8.1	0.90	12か月連続の実質増加
うち女性	50,914	6.6	7.9	0.87	12か月連続の実質増加
他の世帯員収入	9,302	-18.3	-17.3	-0.45	4か月連続の実質減少
非消費支出	94,375	-2.2	-	-	2か月連続の減少
可処分所得	341,748	0.9	2.1	-	2か月連続の実質増加
消費支出	317,195	0.6	1.8	-	3か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	92.8	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値で見ると、72.8%で、前月に比べ、3.0ポイントの低下となった。
		93.1	-0.3		